

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		分別をして専門業者への処分の依頼している 省エネ換気システムを採用している 有害化学物質の把握に取り組んでいる			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		電気、ガスの使用量の確認を実施している 遮熱カーテンを採用し、事務所内の使用エネルギー削減に取り組んでいる 資材倉庫の外灯はソーラーパネルを採用している 事務所内の電球はLEDを採用している							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		炭削くんを導入して自社のカーリオン車におけるCO2排出量を把握し、燃費のよい走行に心がけている 近所は、自転車での移動を行っている IoTライティングの実施、自己チェックを行っている		2.4						7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		買い物はエコバックを使用したり、レジ袋を貰わないようにしている						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		現場・事務所でのごみの分別を実施している ダンボール、古紙、空き缶のリサイクルを実施している ペーパーレス化、裏紙の再利用している 使わなくなったタオルや衣類を現場で再利用している									9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		現場事務所、事務所で節水に取り組んでいる 事務所では節水トイレを採用している		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b						11.5			14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		再生紙の利用を進めている 低炭素住宅施工に取り組んでいる										9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4							12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		事務所壁面・資材倉庫敷地内の緑化に取り組んでいる													11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		資材倉庫に太陽光パネルを設置し、外灯の発電に利用している 室内の環境を整える商材(エコマット)を推奨している								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6						9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6								11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		使い捨てプラスチックの削減を図り海洋汚染の防止に取り組んでいる 八代市の河川清掃美化活動に参加している														12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		近隣は徒歩や自転車で移動している											9.4			11.2		13.1 13.3				
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●		ゼロエネルギー住宅を積極的に推奨することで、2050年CO2排出量実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.6 11.a	12.8	13				17.2		

